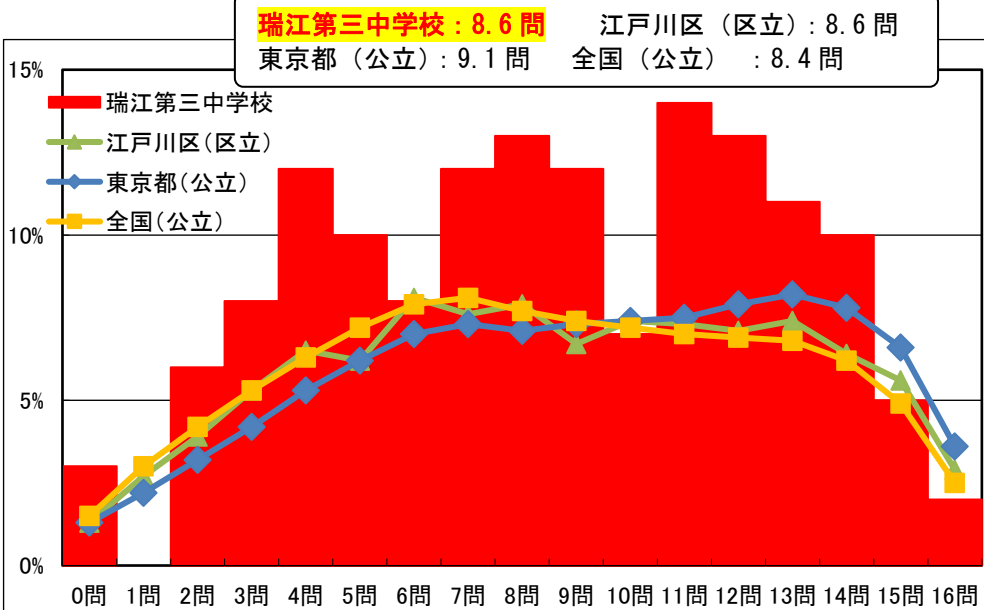


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 瑞江第三中学校

正答数分布

平均正答数

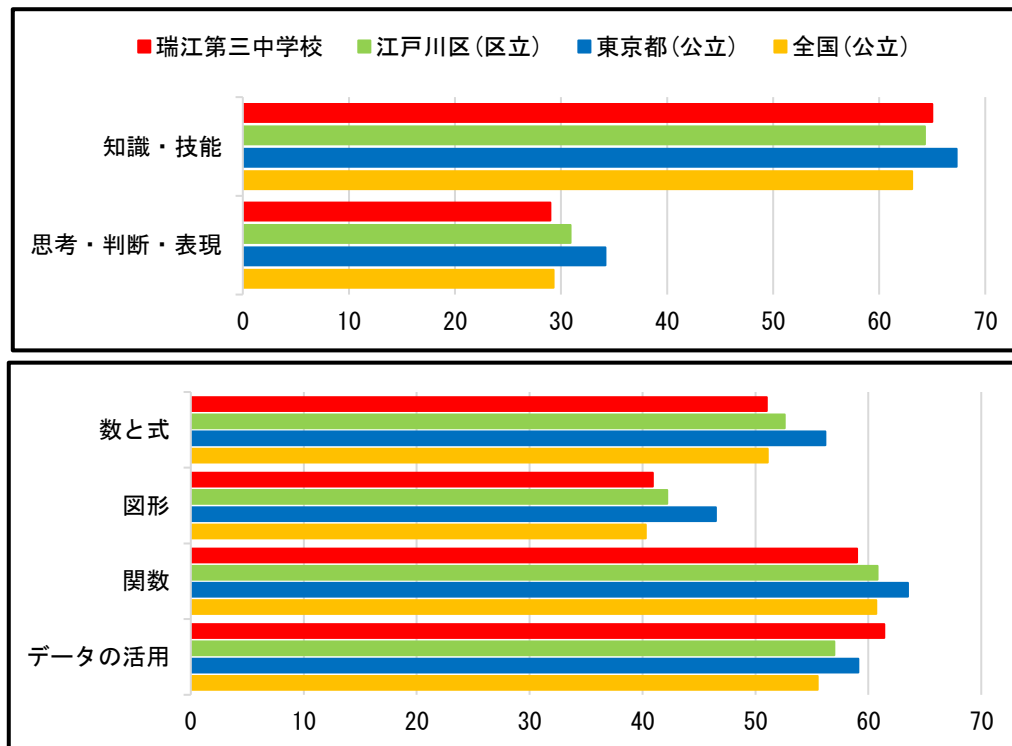


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 13~16問	B層 9~12問	C層 6~8問	D層 0~5問
瑞江第三中学校	19.3	31.8	22.8	26.2
江戸川区(区立)	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都(公立)	26.2	30.1	21.4	22.3
全国(公立)	20.4	28.5	23.7	27.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

瑞江第三中学校	54%
江戸川区(区立)	54%
東京都(公立)	57%
全国(公立)	52.5%
都との差	-3ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

「知識・技能」と比較して「思考・判断・表現」が-36ポイントであることから、記述式問題や図形の証明問題に課題があることがわかる。国語とリンクする部分でもあるが、予想したり、説明したりすることが数学でも見られる。これらを踏まえて、「知識を活用する力」や「問題の趣旨を読み取る力」を育成する取組を重視した授業改善を行う。